

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム  
 第2730地区ガバナー 大重勝弘  
 鹿児島市内分区ガバナー補佐 古木圭介・興津立夫

第2730地区 **鹿児島サザンウインドロータリークラブ**



事務局・例会場 鹿児島東急REIビル  
 〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9F  
 TEL 090-5295-2736  
 FAX 099-251-5290  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp  
 2016~2017年度  
 会長 森 妙子  
 会長エレクト 夏迫文男  
 幹事 野元博志  
 編集 会報・広報委員会  
 HP <http://www.ri2730.org/southern/>

第919回例会 2017年(平成29年)1月19日(木) 本日のプログラム「クラブ協議会(上期報告・下期計画)」

Vol. 21-24

前回第918回例会(1/11(水))の報告 於: サロイヤルホテル

鹿児島市内ロータリークラブ新春合同例会(会順)

進行: 鹿児島城西RCSAA 徳重 信一

1. 点鐘 鹿児島城西RC会長 野田健太郎
2. 国歌斉唱「君が代」
3. ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」  
ソングリーダー 鹿児島城西RC 古田聡美
4. 登壇 ガバナー・ガバナー補佐・副知事・各RC会長  
乾杯 鹿児島市内分区ガバナー補佐 古木圭介  
~~会食~~
5. ゲスト紹介並びに会長挨拶  
鹿児島城西RC会長 野田健太郎
6. ガバナー挨拶 RI第2730地区ガバナー 大重勝弘
7. 出席報告 鹿児島城西RC幹事 時村佳尚
8. 副知事卓話 鹿児島県副知事 小林洋子
9. 閉会の辞(卓話者への御礼も含む)  
鹿児島東RC会長 上村邦典
10. ロータリーソング「手に手つないで」  
ソングリーダー 鹿児島城西RC 古田聡美
11. 点鐘 鹿児島城西RC会長 野田健太郎

鹿児島市内RC会員数 423(385)名  
 出席数 327名 出席率 84.94%



【ゲスト】鹿児島県副知事 小林洋子様(写真左)  
 国際ロータリー第2730地区 大重勝弘ガバナー(右)



次回(第920回)例会のお知らせ

日時: 2017年1月26日(木)  
 12:30~例会・食事「ビストロ・ドゥ・レヴ」  
 (県民交流センター内の県政記念館2F PK有)  
 →「裁判所」へ移動  
 プログラム: 職場訪問

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第918回1月11日(水)	49(47)	36	76.60
第916回12月15日(木)訂正	49(47)	38	80.85

市内他RC例会プログラム

- ★は、記帳受付有り (ホームクラブ例会場)
- 鹿児島RC 1/20(金) ゲスト卓話 鶴田伊都雄様 (山形屋)
  - 中央RC 1/23(月) クラブ協議会(上期・下期) (山形屋)
  - 東南RC 1/24(火) 会員卓話 (サロイヤル)
  - 城西RC 1/24(火) 会員卓話 (東急REI)
  - 南RC 1/25(水) 第6回クラブ協議会 (サロイヤル)
  - 西RC 1/25(水) 優良従業員表彰 (山形屋)
  - 西南RC ★1/25(水) 夜の例会 (ゆうづき)
  - 東RC 1/26(木) 夜間例会18:30~ (サン・イズ・イン)
  - 北RC 1/26(木) 新年会 夜の例会18:30~ (レゾナント)

2016~2017年度 国際ロータリーのテーマ 「人類に奉仕するロータリー」  
 第2730地区のテーマ 「ロータリーを楽しもう！」  
 クラブテーマ 「笑顔でYes, I Can」



【挨拶】 鹿児島城西RC 会長 野田健太郎

鹿児島市内分区のロータリアンの皆さん、新年おめでとうございます。お集りの皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、本日は、鹿児島県副知事小林洋子様並びに第2730地区ガバナー大重勝弘様にお越し頂きました。新年のご多用のなか、ご出席賜り厚く御礼申し上げます。

さて、アメリカのトランプ大統領の就任もまちかとなり、世界の企業が振り回されているようですが、去年は、鹿児島で、東京で、そしてアメリカ、ヨーロッパでトップの交代が続き、その動きは今年も続きそうです。この変化によりどのような進歩が私たちの社会に刻まれていくのか大いに注目したいところですが、一方で、このような変化に無縁に見えるISなどのテロ行為の悲惨な現場や、空爆により崩壊した街で泣き叫ぶ住民、国を離れなければならないようになった幼い子供たちを含む難民の群れ、あるいは、熊本地震で崩壊した街や山肌、巨大な竜巻や台風により一変した町などの映像が報道され、絶えることがありませんでした。

また、一見平穏に見える私たちの社会でも、子供の貧困、高齢者の孤立、あるいは世代間、地域間の格差の拡大など多くの問題が指摘されながら、なかなか対応が追い付かない状況が続いています。

ロータリーは、奉仕の理念の下、自分たちの職業に、そして、社会に、国際理解に、また、青少年の育成に奉仕することをモットーとしていますが、私たちの奉仕の行動を待つ社会のニーズはいたる所にあるといえるでしょう。

ロータリーでは、今年、ロータリー財団100周年を祝います。100年前の1917年にアトランタで開かれたロータリーの大会で、時の会長アーチ・クランプは、「私たちは自分のためだけに生きるべきではありません。誰かのために良いことをする喜びのために生きるべきです。」と呼びかけ、「よいことをする」(doing good)ための基金を提唱しました。これに応じて26ドル50セントの寄付が寄せられたのを嚆矢として寄付が寄せられ、1928年にはロータリー財団と名称がつけられました。ご承知のように、財団はその後発展を遂げ、国際親善奨学金などの教育プロジェクト、ポリオ撲滅を目指すポリオプラスに代表される保健プロジェクトなど、多くのプロジェクトを実現してきました。その財団は100周年を迎えるのを契機に、ロータリアンの多様な活動を支援し、継続的に活力が維持されていくように、地区の資金利用の自由度を高めるなどの制度の整備が行われています。

ロータリーの活動は、近年少し停滞しているようにも見えますが、先に述べたように、奉仕を求めるニーズは身近なところから世界的な規模まで、いたるところに見出せそうです。

このロータリー財団100周年の年に当たり、私たちは今一度ロータリーの奉仕の理念を思い起こし、ロータリアンとしての、そしてロータリークラブとしてのあらたな行動を起こしたいものだと思います。

最後に、この一年が皆様とご家族並びに従業員の皆さま

にとって、より良い行動の年となることを祈念して、ご挨拶といたします。

【挨拶】 国際ロータリー第2730地区 ガバナー大重勝弘  
明けましておめでとうございます。本日は鹿児島市内分区の新年合同例会にお招き頂きまして、有難うございます。

公式訪問と地区大会を無事に終了できました。皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問では、殆どのクラブが会員増強に頭を悩ませていることから、会員増強を第1に取り上げられました。折角一人また一人と増やしても、毎年年度末になると大勢の退会者が出ます。これではザルで水をくむようなもので会員は増えない。またこれに対する対策もなされていない。退会者の内訳をみると、新入会員が大半を占めている。退会の原因はロータリーが解らないことであろうと推察し、①ロータリーを解り易く教える事とした。ところが退会者の中に会長経験者が含まれている。これは単にロータリーが解らないで辞めるのではなく、ロータリーの良さが解らないで辞めるのだと思われるので、これに対してはロータリーの恩恵、即ちProfitsを総ての会員に実感してもらう以外にはない。その為には職業奉仕の実践をして会員の事業所を繁栄・発展させてProfitsを実感してもらう。そして職業奉仕の標語である：He profits most who serves bestを実行する。ロータリーの例会に「職業奉仕の時間」を設けて全会員が知恵を出し合って「サービス」について勉強をする。五大奉仕の中で一番解り難い職業奉仕を解り易くする方法として、「職業奉仕」→「職業に奉仕」職業と奉仕の間にひらがなの「に」の字を入れる。自分の職業に奉仕をすると自分の職業が良くなる。ロータリーの会員は殆どが事業主である。自分の事業所を繁栄・発展させて、足場が安定しないと十分な奉仕活動はできない。まず自分の事業所を繁栄・発展させることが先決である。

次に今年度のIMは、全ての分区で「職業奉仕の実践」に議題を統一し、久保田オートパーツの久保田茂氏に講演をしていただきます。昨年11月に久保田さんの話を枕崎で聞き、素晴らしい話だったので、IMこれで行こうと決心しました。この話をロータリアンだけで聞くのは勿体ないので、JC、商工会議所、婦人団体、その他に公開し、その後の懇親会も一緒にします。ロータリーを一般社会にPRし、知ってもらう絶好の機会であり、会員増強のチャンスでもある。

いよいよ後半を迎えました。クラブの例会に「職業奉仕の時間」を設けて、例会の内容を充実し、会員各自の事業所の繁栄・発展を図り、これが会員増強に繋がるように頑張りましょう。そしてロータリーを楽しもう。

